

論文審査の要旨

報告番号	修第 1299 号	氏名	沼生 加奈子
論文審査担当者	主査 下司映一教授 副査 福地邦彦教授 副査 鈴木久義教授		
(論文審査の要旨) 本論文の要旨は以下のごとくである。 乳房厚の薄い患者のステレオガイド下吸引式乳房組織生検法は、乳房の底上げのために乳房厚調整用補助具を使用しているが、この補助具はいくつか問題点が考えられた。その問題点と乳房厚および病変位置の現状調査の結果を踏まえ新しい補助具を作成し、物理評価および視覚評価、痛みの評価を行った。その結果、画質に影響がなく、撮影時に患者の安全と負担を軽減することができ、新しい乳房厚調整用補助具の有効性が確認できた。 本論分の内容は、ステレオガイド下吸引式乳房組織生検法を安全に行うために有用で、示唆に富む内容であり、学術的価値の高いものと考えられ、修士論文に値するものと判断した。			